

第 4 7 1 回白石市議会定例会 代表質問一覧表

質問 順位	議席 番号	会派名 議員名	質問事項	答弁を 求める者
1	7番	新風未来の会 佐久間 儀郎	1. 令和7年度施政方針について (1) 施政方針について (2) 人・文化を育むについて (3) みんなで地域づくりを進めるについて (4)暮らしをともに支え合うについて (5) 安全・安心を守るについて (6) 活力・賑わいを創るについて (7) まちの未来を描くについて (8) 人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいしへ！について	市 長 教育長
2	2番	自民市民の会 高 子 秀 明	1. 令和7年度施政方針について (1) 施政方針・記念事業を契機とした本市活性化について (2) 人・文化を育むについて (3) みんなで地域づくりを進めるについて (4)暮らしをともに支え合うについて (5) 安全・安心を守るについて (6) 活力・賑わいを創るについて (7) まちの未来を描くについて (8) 市民の市政への理解について	市 長 教育長

代表質問通告書

令和 7 年 2 月 6 日

白石市議会議長 殿

質問順位	1 番
議員名	7 番 佐久間 儀郎
会派名	新風未来の会

【質問事項】 1. 令和 7 年度施政方針について

【質問項目】 (1) 施政方針について

- ① 前任期間中の市政運営にかかる自己評価について
- ② 3 期目における市政運営の考え方について
- ③ 持続可能な自治体運営のための少子高齢化と人口減少対策について
- ④ 「第 48 回全国育樹祭」お手入れ行事について

(2) 人・文化を育むについて

- ① 学校教育の充実について
 - ② 生涯学習・スポーツの推進について
 - ③ 歴史遺産・伝統文化の継承活用について
- #### (3) みんなで地域づくりを進めるについて
- ① ふるさと納税寄付金について
- #### (4) 暮らしをともに支え合うについて
- ① 子ども・子育て支援の充実について
 - ② 地域医療体制の充実と健康づくりの推進について

(5) 安全・安心を守るについて

- ① 消費者行政の推進について

(6) 活力・賑わいを創るについて

- ① 農林業の振興について
- ② 商工業の振興について
- ③ 観光の振興について

(7) まちの未来を描くについて

- ① 快適な生活環境の構築について
- ② 道路・公共交通の整備について

(8) 人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいしへ！について

- ① 副市長 2 人体制について

【質問要旨】 別紙のとおり。

【答弁を求める者】 市長，教育長

(1) 施政方針について

令和7年度施政方針について、次のとおり伺います。

① 前任期間中の市政運営にかかる自己評価について

前任期間中の市政運営に対する自己評価を伺う。

② 3期目における市政運営の考え方について

3期目は改革の手を緩めることなく危機感をもって挑戦続けると述べられたが、改革の詳細を伺う。

③ 持続可能な自治体運営のための少子高齢化と人口減少対策について

人口戦略会議の地方自治体『持続可能性』レポートで消滅可能性自治体が公表され、本市も指摘されたことは記憶に新しい。持続可能な自治体運営のためには少子高齢化と人口減少対策は重要課題でまさに待ったなしである。本市の対策を伺う。

④ 「第48回全国育樹祭」お手入れ行事について

福井県での第47回育樹祭を視察されて具体イメージを膨らませていると推察するが、本市における「第48回全国育樹祭」に対する市長の思いを伺う。

(2) 人・文化を育むについて

主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の1つ目の分野目標「人・文化を育む」から、次のとおり伺います。

① 学校教育の充実について

1点目、小中学校の望ましい在り方にかかる基本方針策定のプロセス・スケジュールを伺う。2点目、経済協力開発機構(OECD)の事業に参加協力することの教育上のメリットと効果を伺う。

② 生涯学習・スポーツの推進について

人工芝サッカー公園の大規模改修に市民から多くの要望があると承知しているが対応策を伺う。

- ③ 歴史遺産・伝統文化の継承活用について
斎川地区住民が地区内「検断屋敷」の掘り起こし活動に着手したと聞かが行政の支援を伺う。
- (3) みんなで地域づくりを進めるについて
主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の2つ目の分野目標「みんなで地域づくりを進める」から、次のとおり伺います。
- ① ふるさと納税寄付金について
自主財源の確保、また地方創生の観点から、ふるさと納税寄付金に関する利便性の向上や返礼品の充実を図る。同時に「企業版ふるさと納税」の拡充も必要と考えるが、増額を図るための戦略的な対策を伺う。
- (4) 暮らしをともに支え合うについて
主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の3つ目の分野目標「暮らしをともに支え合う」から、次のとおり伺います。
- ① 子ども・子育て支援の充実について
1点目、(仮称)白石市認定こども園・子育て支援施設の設計には、子育て世代の意見が反映されるべきで意見聴取の計画を伺う。2点目、小学校入学祝い金贈呈事業を第1子、第2子にも広げた背景を伺う。3点目、子ども医療費助成制度の対象年齢を18歳の年度末までに拡充した当局の思いを伺う。
- ② 地域医療体制の充実と健康づくりの推進について
帯状疱疹は患者の約7割が50歳以上のため、助成対象年齢を50歳以上にすべきだが、見解を伺う。
- (5) 安全・安心を守るについて
主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の4つ目の分野目標「安全・安心を守る」から、次のとおり伺います。
- ① 消費者行政の推進について
特殊詐欺や悪質商法などの被害が後を絶たない。広報紙やホームページ、SNSを活用した情報提供や世代に応じた啓発活動はたゆまずに進めていくことが肝要で同時に消費生活相談員の知識と技能の習得が大切である。複雑で高度な判断が求められる案件もあって法的な知識も求められると推測する。消費者行政における相談対応機能の向上策を伺う。

(6) 活力・賑わいを創るについて

主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の5つ目の分野目標「活力・賑わいを創る」から、次のとおり伺います。

① 農林業の振興について

(仮称)道の駅しろいしにおいて農業生産者や物産販売者の販路確保・拡大が求められる。「みのりLabo」「みのりFactory」と連携強化して6次産業化、ブランド化を推進すべきと考えるが、見解を伺う。

② 商工業の振興について

あらゆる方策を駆使して早急に企業誘致を実現すべきである。誘致活動の現況と見通しを伺う。

③ 観光の振興について

白石城開門30周年を契機に「城泊」を企画するなど節目の観光振興策を伺う。

(7) まちの未来を描くについて

主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の6つ目の分野目標「まちの未来を描く」から、次のとおり伺います。

① 快適な生活環境の構築について

(仮称)白石中央SIC周辺整備事業区域内で上下水道整備工事が着手されるが、国道4号を横断する近隣住民や集落からインフラ整備を求める声がないのか、懸念している。当局の調査状況を伺う。

② 道路・公共交通の整備について

既存公共交通では対応できない山間地域などにおける住民主体の新たな移動・外出サービスの整備は、小原地区で先行しているが、他地区で実施する活動の機運があるのか状況を伺う。

(8) 人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいしへ！について

「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいしへ！」について、次のとおり伺います。

別紙 代表質問要旨

① 副市長２人体制について

１点目、県との連携強化、さらに市の意思決定の強化と迅速化のために宮城県から副市長を招聘し副市長を２人体制にすると判断された背景を伺う。
２点目、企業誘致について、県から本市に企業紹介がなされるものか伺う。

代表質問通告書

令和 7 年 2 月 6 日

白石市議会議長 殿

質問順位	2 番
議員名	2 番 高子 秀明
会派名	自民市民の会

【質問事項】 1. 令和 7 年度施政方針について

【質問項目】 (1) 施政方針・記念事業を契機とした本市活性化について

- (2) 人・文化を育むについて
 - ① 特別支援教育について
 - ② 非認知能力等の育成について
 - ③ 地域学校協働活動について
- (3) みんなで地域づくりを進めるについて
 - ① 多機能型自治の形成について
 - ② 市民と行政の情報共有化について
- (4) 暮らしをともに支え合うについて
 - ① (仮称) 白石市認定こども園基本設計について
 - ② 子ども・子育て支援事業計画の策定について
 - ③ 高齢者福祉・障がい者福祉について
- (5) 安全・安心を守るについて
 - ① 防災公園基本計画について
 - ② 市民の防犯意識の向上策について
- (6) 活力・賑わいを創るについて
 - ① 地域計画について
 - ② 企業誘致について
- (7) まちの未来を描くについて
 - ① 循環型社会の構築について
 - ② 無電柱化について
- (8) 市民の市政への理解について

【質問要旨】 別紙のとおり。

【答弁を求める者】 市長, 教育長

(1) 施政方針・記念事業を契機とした本市活性化について

令和6年度は市制施行70周年記念事業、令和7年度は白石城開門30周年、また10月に開催される第48回全国育樹祭と、2か年にわたる一連の流れで白石市を全国に押し出す絶好の機会と捉えていると察する。これを契機に本市活性化のため、本市の魅力为全国にPRし、「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち、しろいし」を、いかに実現するのか市長の展望を伺う。

(2) 人・文化を育むについて

主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の1つ目の分野目標「人・文化を育む」から、次のとおり伺います。

① 特別支援教育について

特別支援教育について、教師や支援員不足が課題ではとの保護者や市民からの声も少なくない中、「特別支援教育において教育ソフトを導入し、その効果的活用を図る」と表明されているが、近年の本市特別支援教育について市長の見解を伺う。

② 非認知能力等の育成について

本市児童生徒の基礎学力が着実に向上していると実感しているところではあるが、児童生徒のメンタル的な面で、将来の夢や志を叶える力を身に付けて励んでいるのか、非認知能力の育成による成功例等を挙げて、市長の所見を伺う。

③ 地域学校協働活動について

地域学校協働活動は、地域全体の教育力向上と地域力の活性化において重要な役割であると認識する。継続して活動を行うにあたり、昨年12月、情報交換会にて「ボランティア活動持続のポイント」を話し合い、提言をいただいているが、今後の地域学校協働活動推進における課題等も含め、市長の展望を伺う。

(3) みんなで地域づくりを進めるについて

主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の2つ目の分野目標「みんなで地域づくりを進める」から、次のとおり伺います。

① 多機能型自治の形成について

多機能型自治の形成について、市民がその多様なニーズに応じた包括的な行政サービスを一元的に受けることが出来るように、イメージとして、行政は各地区まちづくり協議会とどのような関わり方をしていくのか、具体的な例を含め、市長の見解を伺う。

② 市民と行政の情報共有化について

市民と行政の情報共有化について、市の施策を市民の皆さんに直接説明する機会を増やすとのことだが、従来の市民説明会や各自治会長への説明などに加え、今後はどのような手段で市民の理解を得るのか伺う。

(4) 暮らしをともに支え合うについて

主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の3つ目の分野目標「暮らしをともに支え合う」から、次のとおり伺います。

① (仮称) 白石市認定こども園基本設計について

(仮称) 白石市認定こども園・子育て支援拠点施設の基本設計業務委託事業について、公募型プロポーザルの選考結果が公表されたが、優先交渉権者が本事業の基本方針を踏まえ、拠点施設機能に配慮した計画であると判断した理由と今後の施設運営の展望を伺う。

② 子ども・子育て支援事業計画の策定について

「第三期白石市子ども・子育て支援事業計画」の策定について、第二期事業計画の分析と第三期事業計画の具体的な重点施策を伺う。

③ 高齢者福祉・障がい者福祉について

高齢者福祉・障がい者福祉について、それぞれの現況分析と今後の最重要課題は何であると捉えているか、市長の見解を伺う。

(5) 安全・安心を守るについて

主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の4つ目の分野目標「安全・安心を守る」から、次のとおり伺います。

① 防災公園基本計画について

本年4月工事着工予定の「(仮称) 道の駅しろいし及び防災公園」の基本計画において、各地区同時多発的な大災害により、当該施設に災害対策本部設置や避難所開設となった場合、周辺地域以外の中心市街地と郡部からの避難経路と移動手段についてのイメージを伺う。

② 市民の防犯意識の向上策について

特殊詐欺や子どもへの不審者接近事案の発生は、しろいし安心メール等でメール登録者には連絡が入り注意喚起されていると評価する。安心安全、犯罪抑止対策の観点から、警察署や各地区防犯協会との連携の強化において、具体的な市民の防犯意識の向上策を伺う。

(6) 活力・賑わいを創るについて

主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の5つ目の分野目標「活力・賑わいを創る」から、次のとおり伺います。

- ① 地域計画について
「地域計画」について、その進捗状況と農業生産活動・担い手確保対策において市長の見解を伺う。
- ② 企業誘致について
企業誘致について、これまでトップセールスによる企業訪問を実施し、誘致までに至らなかった要因の分析を各企業のご意見などを交えながら市長の所感を伺う。
- (7) まちの未来を描くについて
主な施策の概要の内、第六次白石市総合計画の6つ目の分野目標「まちの未来を描く」から、次のとおり伺います。
 - ① 循環型社会の構築について
持続可能な循環型社会の構築について、市長の描く理想像・将来像を伺う。
 - ② 無電柱化について
無電柱化について、良好な景観形成はもとより、交通事故防止の観点からも無電柱化を望むところである。事業実施予定の路線のほか、今後の事業拡大についての展望を伺う。
- (8) 市民の市政への理解について
国・県との連携を一層強化し、これからの予測困難な時代に的確で適正な行財政運営に取り組むため、副市長2名体制でのぞむことは、人口減少と少子高齢化がすすむ本市において、市民にどのように理解していただくか、市長の見解を伺う。